



ふくおか [Good] 農業人100

主な農産物 / ブロッコリー、スイートコーン、長ネギ

森山 英哲さん (33歳) (営農地 / 古賀市筵内)

自分の裁量でやれる農業がしたかった

《就農のきっかけ》

漠然と…?

自分の裁量でやれる農業をしたい!

「大学が農学部であったことで、農業を体験して、ただ漠然と農業がしたいなあ…と思いました。」本当に漠然と?という問いかけに「はい…」と笑顔で答える森山さん。しかし、しっかり大学(農学部)卒業後は、地元の古賀市に戻り、指導農業士*さんを通じて研修先を探し1年間の研修生活へ。農業の技術を学ぶだけでなく地元の農業者の方との人間関係を深めていきました。

研修後は、家族の事情で、一時的に父の故郷の島根県へ移り住み、農業法人に就職しましたが、どうしても自分で農業がしたいと、古賀市へ戻り、研修先の農業者の方に応援してもらい、就農を実現しました。「やっぱり自分の裁量でやれる農業がしたかったんです。研修中に、研修先の農家の方に、就農するなら応援してやるけんって言ってもらったので安心して戻ってきました。」森山さんのきらきらした目の奥には決意が見えました。

《これまでの過程》

地元の農業者の方に感謝!

でも農業は予想以上に厳しかった

1年間の研修と5年間の農業法人での就業経験を持ち、地元の農業者の方の応援の下、スムーズに就農した森山さんですが、「技術的にも、規模的にも、まだまだ足りないということはわかってはいたけど…、農業は予想以上に厳しかったです。」と率直に苦労を話されました。

研修先の農家の方が、就農時、農業委員であったこともあり、就農に当たっては農地の確保や地元の農業者の方との人間関係づくりに本当にお世話になったそうです。また、就農時の投資も中古のトラクターと軽トラックの購入などで、安くおさえることもできました。しかしながら、6年間の経験をもって「品質のいい野菜」はできず、初年度の売上げは食べていける額には程遠い、厳



プロフィール

■家族構成 / 本人 ■前職 / 農業法人 ■営農年数 / 約4年
■耕作(経営)面積 / 1.1ha ■販路 / JA共販、直売

しい日々を過ごしたそうです。そこで、2年目からは、自分の直感的な向き不向きだけでなく、技術面や販売面を考えた品目選定を行い、作付計画を立てたそうです。

《これからの展望》

自分の力量を見ながら

品目の選定は、農協で共同販売できる品目のブロッコリーが中心です。しかし、それでは夏場に所得がないので、直売所で人気のスイートコーンを作っています。農協にブロッコリー部会があることと、地元大きな直売所があることにも助けられています。本当はブロッコリーを増やしたいのですが、ひとりで農業をしているので労働力も機械装備もないので、今後は、中古ハウスをもらったので、アスパラを作ることにしています。やっぱり、ひとりで農業は自分の力量を見ながらやっていかなければならないので、規模拡大は簡単ではないですね。

*指導農業士…優れた農業経営を行いつつ、農村青少年の育成に指導的役割を果たしている者で、知事が認定した農業者。



Good 成功のためのポイント

ここまでこれたのは、一年間の研修と研修先の農家の方に恵まれていたからですね。就農を考えているのなら、1年間みっちり農家の方のところで研修をさせてもらうことが大切です。自分が農業に向くか向かないかわかるし、たとえ向かなくてもその経験は無駄にはならないと思って研修に入りました。また、研修中はたくさんの農家の方に会うことができ、お世話になりました。地域の方と仲良くなることのできたのも研修させてもらったからです。ここでのつながりで、みなさんに、就農する前もした後も応援してもらっていますし、助けてもらっています。このつながりは大切です。